

2021年1月26日

高レベル放射性廃棄物地層処分に係る地域の対話活動

# 松江エネルギー研究会

代表 石原孝子

宍道湖

A sunset scene over a lake with a silhouette of a statue in the foreground. The sun is low on the horizon, creating a bright orange and yellow sky. The sun's reflection is visible on the water. In the foreground, the silhouette of a large statue is visible on the right side. In the middle ground, there is a small island with trees. The overall atmosphere is serene and peaceful.

# 松江エネルギー研究会とは

- 島根県松江市は唯一原子力発電所立地県都
- 設立:2004年10月1日(17年目)
- 会員数 15人
- 講演会・勉強会・視察
- 所属:NPOあすかEF・JAIF・ETT



# 松江エネルギー研究会目的

原子力・エネルギー・  
放射線・地層処分について  
「良い」「悪い」ではなく、  
「正確に知ろう！」を目的

テーマは

みんなまで  
考えよう  
エネルギー  
のこと



本日の話題

- 活動内容「視察」
- 「自分ごと化」
- 先進地視察

# 松江エネルギー研究会

資源エネルギー庁委託事業 「令和元年度NPO等活動支援事業」

日帰りバス ツアー + 金田武司氏 講演会 → 松江エネルギー研究会 活動

(太陽光発電所・バイオマス発電所・原子力発電所・風力発電所)

## 身近なエネルギーを知ろう!

ど  
こ  
か  
ら  
電  
気  
は

はじめてのエネルギー・原子力PARTII ~知って働いて学んで見て話そう~  
原子力発電所立地県の松江市民として、原子力を始め、エネルギーのことを「L.V.N」「悪い」ではなく正確に知ろう!

松江エネルギー研究会

**視察**は学生と一緒に  
(島根大学・松江高専・島根県立  
大学等)

NUMO

幌延・瑞浪・六ヶ所村・東海村

原子力・エネルギー  
放射線等

島根・鳥取・広島・岡山・東京都内  
東海村・高崎・福島

# 松江エネルギー研究会

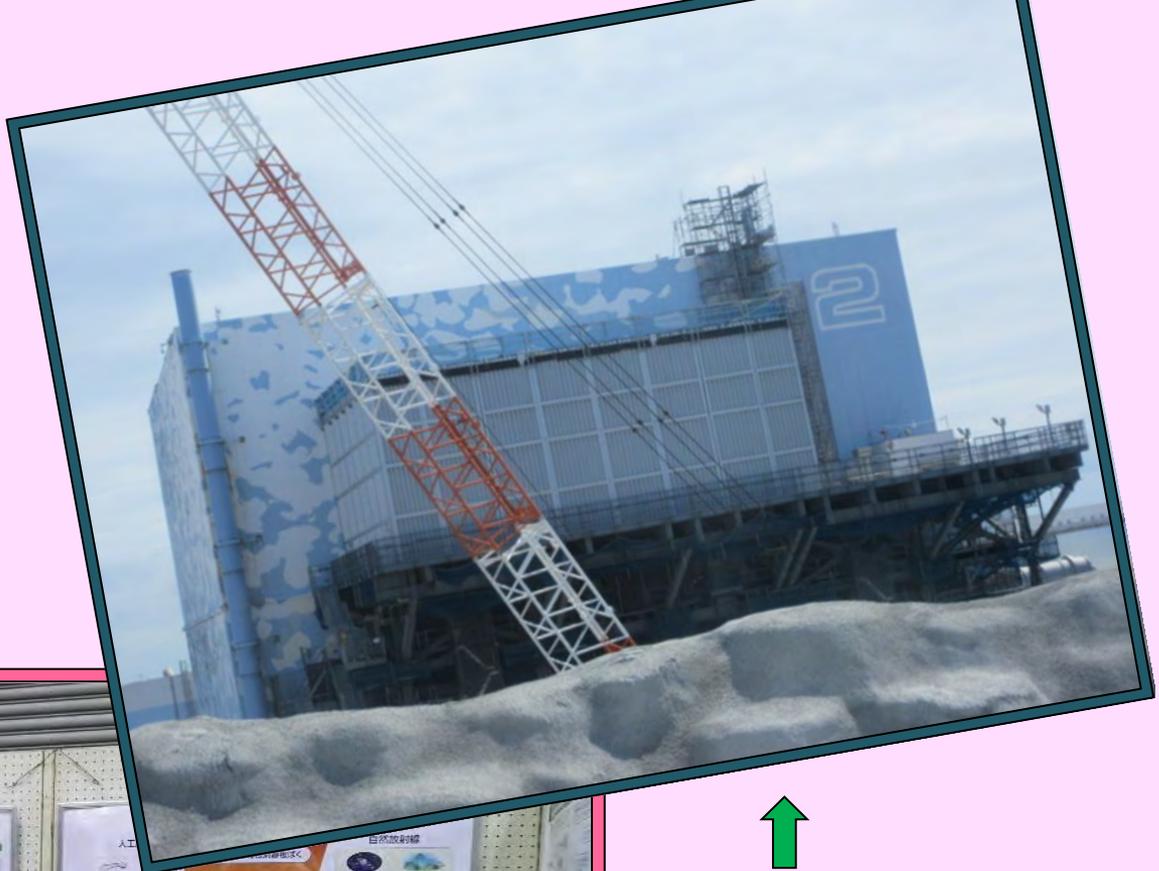


↑  
講師: 幸浩子氏

←  
島根県三隅火力発電所

# 松江エネルギー研究会

## 環境フェスティバル



福島第一原子力発電所

## 自分ごと化会議in松江からの 9つの提案 ～原発を自分ごと化する～



2019年3月14日

「自分ごと化会議 in 松江」 会議参加者一同

## 自分ごと化会議in松江 ～原発を自分ごと化する 住民による住民の会議 (松江市民台帳から無作為抽出 2217件、実際参加者26人)

- 1: 基調講演・専門家のパネル  
ディスカッション
- 2: 専門家問題提起・意見交換
- 3: 話題提供「諸外国の原子力」  
改善提案・意見交換
- 4: 改善提案協議・提案書案作成

## 松江エネルギー研究会 自分ごと化会議in松江 提案

- 1: 原発を「誰かが考える問題」ではなく「自分の問題」に。
- 2: どう暮らし、どんなまちであってほしいか、原発のあり方を。
- 3: 島根原発の見学など、分かりやすい情報、判断しやすい環境を。
- 4: 原発によって経済効果を、具体的に検証。
- 5: エネルギーの使い方を見つめ、無駄をなくす。
- 6: エネルギー源の多様化、地域循環型のシステム研究成果を。
- 7: 放射性廃棄物の最終処分場情報のコミュニケーションを。
- 8: 原発事故が起きた場合の被害シミュレーション、避難計画、経路の周知の徹底と、市民も知る努力を。
- 9: この会議での私たちの意見と、議会、行政の考えとの共通点、相違点を知るため、市議会を傍聴したり国のエネルギー政策の動向をチェックしたりする。議会、行政は多様な市民の意見を真剣に聞く。



令和元年9月1日～8日

フィンランドオルキルオト  
スウェーデンエストハンマル

# おぼちゃんが 見たオンカロ

フィンランド オルキルオト  
深度400～450m

高レベル放射性廃棄物の先進地

## なぜ、合意形成が出来たのか？

# フィンランド

低中レベル 放射性廃棄物 処分施設

オルキルオト原子力発電所



最終処分施設





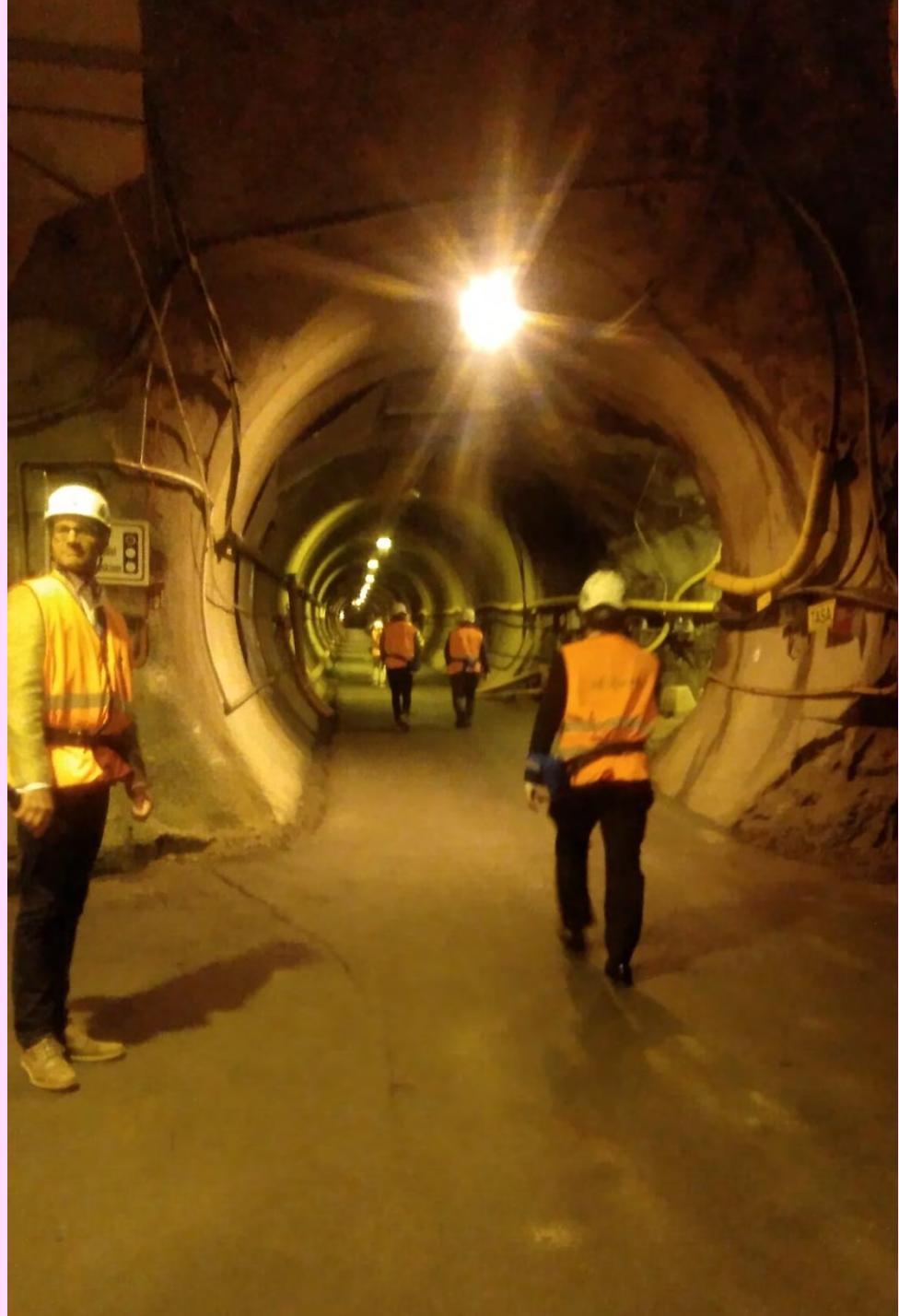


# スウェーデン

最終処分施設  
予定地

フォルスマルク原子力発電所





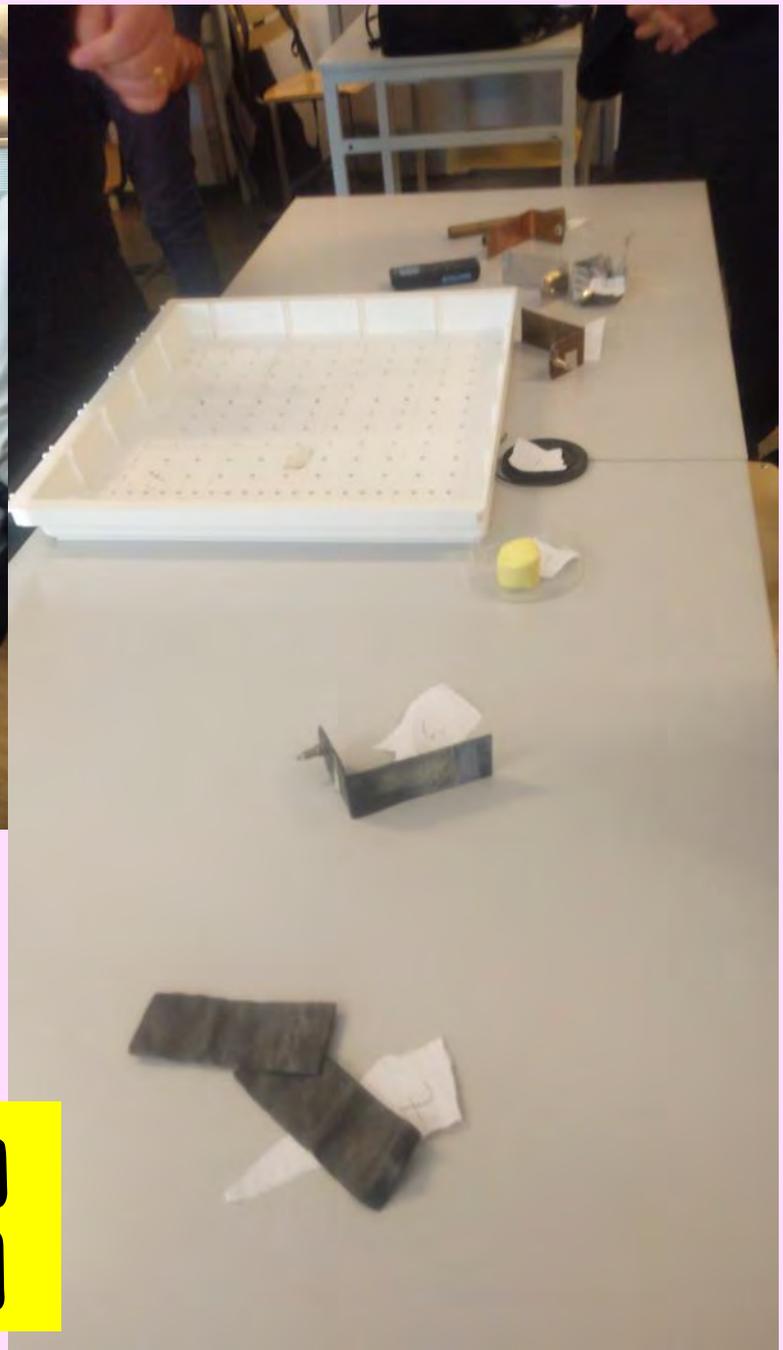
# なぜ合意形成ができたのか？

- **福祉国家**
- **規制機関STUKが国民から信頼**
- **政治的な階層が国⇒市町村**
- **原子力施設に馴染みがある**
- **長年事故が無く、原子力への信頼と、  
企業への信頼**
- **国民の考え方**



ヘルシンキ中央図書館





**フィンランド エウラヨキ市内  
中学校(小中一貫校)を訪問**

授業は「楽しく学ぶ工夫」「遊びながら学ぶ」



「好奇心」「考える力」「生きる力」を養う



PISA(15歳児 学習到達度国際調査)  
フィンランド 過去 1位 (現在5位 日本2位)



# 合意形成に至るには

「信頼」  
「透明性な情報」  
「自分で考える教育」  
「自分ごと化する」



次世代へ引き継ぐ

課題だから

まだ、拒否権が



教育は「好奇心」と

「考える力」を養う



決議の結果は尊重し、

前を向いて



公平性と責任



透明性の説明





ご清聴

松江城と しまねっこ

ありがとうございました。